



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2025/09/18

日本イスラエルクリスチャン交流会発足！
クリスチャンは政治に関わるべきではないのか？
チャーリー・カークに学ぶ

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

^。^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*^。*

お元気ですか。高原剛一郎です。今日は「日本イスラエルクリスチャン交流会」をご紹介します。



これは、参議院議員会館の中にある特別会議室で撮った写真で、日本イスラエルクリスチャン交流会という団体の発足式です。イスラエルクリスチャン交流会は今、世界 62 か国に広がっているんです。この会の趣旨は、福音派クリスチャンの国会議員とイスラエルを結びつける働きで、今世界で 1600 人くらいの国会議員が加盟しています。

なぜ「日本イスラエルクリスチャン交流会」になるかという、イスラエルとクリスチャンの間には交流できる土台があるという考えに基づいているんですね。その土台がバイブルなんです。「ユダヤ人たちは旧約聖書を神のことばとして信じている。クリスチャンたちも旧約聖書を神のことばとして信じている。だから、同じ価値観・世界観・人間観に基づいて交流できる部分がたくさんあるんじゃないか。聖書的価値観を土台にして、イスラエルとの協力や交流を深めていこう」そんな国会議員のネットワークです。代表者が福音派のクリスチャン議員なら、どんな国会議員も入ることができます。

発足式ということもあって、私も一クリスチャンとして末席に出席させていただきました。横長のポスターみたいな物を持ってますね。これはプレゼントで、日本のこの会の代表である金子道人（かねこ みちひと）参議院議員が受け取られました。アブラハムから現代イスラエルに至るまでの主要な事件や登場人物を、イラストでビッチリ書き連ねているんです。一つひとつ見ていったら、めちゃくちゃ面白い。私もこれを写真に撮らせてもらって、解説するようなチャンスがあったらいいなと思っています。

前に 3 人の方が座っています。右端の方が、この交流会の代表のジョシュ・ラインスタイン。白髪頭の赤ネクタイの方が、駐日アメリカ大使のジョージ・グラス。左端の方がイスラエル大使のギラッド・コーヘン。日本において、アメリカの大使とイスラエルの大使が両方に座っているんです。

出席者の講演、ショートメッセージなんですけど、内容が非常に濃かった。アメリカのグラス大使は、「私たちは忘れてはいけないことがありますよ。2023 年 10 月 7 日、ハマスが市民 1200 人以上を殺害し、251 人の人質をガザの地下ト



ンネルにさらって行った。極悪非道なテロをやったことで、今の悲惨な事が起こっているんです。未来のパレスチナにハマスの居場所はありません。私は断言しておきます。居場所はありません！ガザの今の貧困や絶望の元凶、一番の責任は、ただハマスのみにあります。もう一度言います。ガザにおける貧困・絶望の責任は、ただハマスのみにあります」と宣言

されたんです。同じ文言を2回繰り返して強調されたんですね。

ハマスを律することが決してあってはならないという文脈で、今の国際情勢について短くコメントされて、非常に心に残りました。これについては、別の動画で紹介したいと思っています。



そして、ギラッド・コーヘン イスラエル大使の講演、講演というか5分くらいのショートメッセージですが、すごく心に残ったんですね。「今、中東、特にアフリカ諸国のイスラム圏の中で、ユダヤ人やクリスチャンが迫害されずに、平和に暮らせる国ってありますか？」

アフリカにもクリスチャンが主流の国があります。クリスチャン主流の国で、イスラム教徒のアフリカ人やユダヤ教徒たちは迫害されてませんよ。しかし、イスラムの政治・政府ができあがっている国では、特にクリスチャンがめっちゃくちゃ目の敵にされてるんです。もちろん、ユダヤ人たちも迫害を受けているけど、今のアフリカのイスラム圏で、どれだけたくさんのクリスチャンたちが迫害されているか。

中東の中で、ユダヤ教徒・キリスト教徒・イスラム教徒が平和に共存できる唯一の国がイスラエルです。イスラエルでは、イスラム教徒だからといってユダヤ系イスラエル人から迫害されるとか、クリスチャンだからといってイスラエル政府から弾圧を受けるなんてないんです。



「中東で、民主主義の価値観を持っている唯一の国がイスラエルです。ユダヤ・キリスト教の価値観に基づいて、テロに立ち向かって行きましょう！私たちには旧約聖書という共通の土台があります。この土台に基づいた世界観で、これからの世界を平和につくっていきましょう！」

非常に力強いメッセージでした。お互いにガッチリ握手されてるんですね

そして、GHF/ガザ人同財団のトップであるジョニー・ムーアという方の講演、ビデオレターだったんですが、これがまた素晴らしかった。だけど、これをやると動画が長くなるので割愛します。

ここで、取り上げたい問題があるんです。日本・イスラエル・クリスチャン交流会。政治家が絡んでくるということで、クリスチャンが政治に関わっていくことに対し

て、日本では非常にネガティブなイメージがあると思うんですよ。「クリスチャンが政治に関わるって、あってはならないことじゃないんですか？」と。私はこれについては前々から異論があるんです。

「おまえ、伝道者やったら福音のことだけ語ってろ」みたいなことが、コメントでよく入って来ますよ。今回のコメントにも入るかも分かりません。言っときますけどね、私が一番時間を使っているのは、福音メッセージの準備とメッセージです。私はほぼほぼ週に最低4回くらい、福音メッセージを語っています。招かれたらどこにでも語りに行きます。「聖書のメッセージ聞かせてください」というところがあれば、私のスケジュールが許す限り、どこでも、だれが相手でも、福音メッセージを語るようにしてるんです。私が福音メッセージを黙るということはありません。



が同時に、政治的なことについても、「これを今黙ってたら、世の中悪くなるんじゃないか」ということについては発言します。なぜかという、私が尊敬するクリスチャンの中に、そのような明治人がいたんです。内村鑑三（うちむら かんぞう/1861（蔓延2）3.23-1930（昭和5）3.28）ですよ。ちょっとぼやけてて横向いてますけど、なんとなくニーチェに似てませんか？

内村鑑三はバリッパリの福音派クリスチャンなんですけど、クリスチャンでありながら『萬（万）朝報（よろずちょうほう）』という社会派新聞の主筆で、舌鋒鋭い言葉遣いで、当時の日本社会について、政治について、批判を繰り返して来たんです。朝報とは朝刊です。世の中で起こっている色んな出来事、政治も経済もスキャンダルも、様々なこと全部ひっくるめて毎朝届けるというものでした。

クリスチャンの新聞じゃないんですよ。ノンクリスチャンの新聞。どっちかという、社会主義者が好んで読むような新聞に、彼はクリスチャンの観点で、「これ、おかしいんじゃないのか?!」ということ堂々と論陣を張っていった。それで、内村が書いているので、この新聞は伸びたんです。内村の文章を読みたいということで、世の中の人を読んだんです。萬（万）朝報の彼の発言を通して内村鑑三という人を知り、後に彼が主催していく『聖書の研究』という月刊誌に流れていったんです。彼はそういうことで影響を与えていったんですよ。

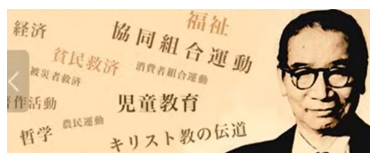


そして、札幌農学校時代の彼の同級生の新渡戸稲造（にとべ いなぞう/1862（文久2）9.1-1933（昭和8）10.15）。5千円札ですね。

新渡戸稲造もクリスチャンで教育者、かつ外交官でした。国際連盟事務次長まで務めて、日本外交においても大きく寄与された方ですよ。彼が外交官として発言するのは当然、政治のこと、国際情勢のことがいっぱい出て来

たわけですよ。その発言の背景にあるのは聖書的な価値観です。

後に首相になる大平さん〔大平正芳（おおひら まさよし/1910(明治 43)3.12-1980(昭和 55)6.22)〕は、「私は内村先生から神を学び、新渡戸先生から人間を学んだ」と。この両巨頭のクリスチャンの感化力が、後々の世代まで広がっていきました。彼らは政治のことについて発言していったんですよ。



3番目は賀川豊彦（かがわ とよひこ/1888(明治 21)7.10-1960(昭和 35)4.23)さん。彼自身が芸者の子供で、神戸の貧民街スラム、水商売の貧困層のところに行って、大正から昭和にかけて開拓伝道をやっています。

キリスト教の伝道者であるだけでなく、児童教育・生活共同組合運動（コープを作ったのはこの人ですよ）・福祉・貧民救済・被災者救済・著作活動・農民運動・哲学・経済…ありとあらゆることを活動していきます。

彼がクリスチャンの観点でそういう活動をしていることが、戦前から世界中に知れ渡っていたので、やがて日本が戦争に負けてGHQが入って来た時、GHQは彼に接近して、彼からアドバイスを受けながら、信教の自由ということを作ったんですよ。GHQは悪いこともいっぱいやったんです。焚書運動も。日本の保守の人たちが「あんな焚書運動はけしからん！」私もそれに同意しますが、良いこともあった。負の財産だけでなく良いこともやってる。日本の伝道活動をやっていた人たちの感化も受けてるんですよ。

それは彼らが、自分たちの教会の殻の中に閉じこもって、あと何もしてませんでしたというんじゃなくて、社会に対して働きかけをしていったというのが大きいんじゃないでしょうか。



これはチャーリー・カーク（1993.10.14-2025.9.10）さんの暗殺現場です。彼は討論会をやっている最中に、首を撃たれて亡くなりました。今も星条旗やお花を手向ける方が次から次にやって来て、追悼しています。彼の影響力は失せないどころか、ターニングポイント

USAに、すでに4万人近い人たちが入っている。もう爆上がり。

彼の死を通して、今までの彼のYouTube動画やポッドキャストのバックナンバーを、改めて聞き直したり見直したりしている人たちが多くいて、それがまた、彼の価値観・語って来たことをずっと広げている面があるんですね。

ところで、アメリカにはチャーリー・カークさん以外にも、若手のクリスチャンの論客がたくさんいますが、なぜ彼がこんなにも慕われ、注目を受け、この事件が大事件になっているのか。彼がただクリスチャンとしての活動だけじゃなく、アメリカのクリスチャンたちが政治に心と目を向けるように働きかけて、大きな成果を上げてきたからなんです。

実はアメリカでも、もちろん日本でもそうですが、クリスチャンが政治に関わるのは良くないというイメージ・価値観があるんですね。その価値観はどこから来ているのか。聖書に「クリスチャンは世のことに関わるな。この世と調子を合わせてはいけません」ということばがあるんです。

ローマ人への手紙 12章 2節

この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで自分を変えていただきたいなさい。

世のことに関わったら世と調子を合わせることになってしまうから、初めからタッチすんな！と解釈する人は、そう言うんです。

第一ヨハネの手紙 2章 15-16節

世も世にあるものも愛してはなりません。世にあるものはみな、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢だからです。

「世俗のことに関わることは欲望に関わっていくことだ」という警告的なもので、「世のことに関わるな。政治は世のことなんだから、そんなものに関わるな」というのが聖書が言っていることだと言うんです。つまり、クリスチャンは霊的なことにだけ注目してたらいい。政治的なことには一切関わるなという観点。

ところが、チャーリー・カークさんはそうではなかったんですね。

「クリスチャンは投票に行くように。社会的問題について考えて発言するように」と提言し、後押ししていったんです。クリスチャンが政治的に沈黙してしまったら、社会全体に悪影響が出て来るのではないかと考えたんですね。

この社会や社会の中で作られる法律は必ず、何らかの価値観に基づいて作られるんですよ。法律やルールは、その時代の価値観に基づいて形成されるものじゃないですか。「クリスチャンが聖書的な価値観を発言しないしていると、反聖書的な価値観が置き換わってしまって、世の中がどんどん悪くなってしまわないか」と提言したんです。

具体的には中絶問題。人の命はいつから守られるべきものなのか。

聖書の価値観では、受精した段階から、お母さんのお腹の中にいる時から、一人の人格として、一つの命として語っています。だけど、クリスチャンがその価値観を知っていながら黙ってしまったら、「人間には自己決定権がある。特に産むのは女性なんだから、女性が自分に宿っている命を自己決定権の下に中絶することはオッケ。産むこともオッケ。どちらも自由。中絶する自由だってあるんです」これが通ってしまうんじゃないかと。

信仰の自由についても、クリスチャンが「信仰を公に表明することは、侵してはならない尊いものだ」と言わなかったら、どうなりますか？

聖書を不愉快に思っている人たちは、「クリスチャンが聖書的なことを言うのは鬱陶しいから黙れ！」

一時アメリカで、大統領自身が「メリークリスマスと言うのをやめよう」と言ったじゃないですか。オバマ大統領が。

メリークリスマスとは「クリスマスを喜びましょう」クリスマスはキリストの降誕を喜んで、それを記念することだから。でも、世の中にはクリスチャンじゃない人もたくさんいて、「メリークリスマスと言われたら、宗教の押し付けみたいに聞こえて不愉快だ。メリークリスマスじゃなくてメリーホーリーデー、グッドホーリーデーにしましょう！」クリスマスって言うたらアカンと。

もっと言うとヨーロッパ。今YouTubeでバンバン出てるけど、ロンドンではクリスチャンが路傍伝道したら捕まるんです。クリスチャンが聖書の価値観に基づいてメッセージすることは、それを拒絶する人には嫌がらせに聞こえるんじゃないか。人を不快にさせる言動は、社会を争乱に巻き込むことではないかと。

イスラム教徒がコーランを言っても、何も言われませんよ。クリスチャンが聖書のことを路傍伝道したら、「公衆の面前で、なぜそんなことを言うのか」と捕まるんです。そんな動画がいっぱい上がってる。そういう法律や条例ができてしまった後でそれをすると捕まるんです。議論されている時に「おかしいじゃないか」と声を上げなかったら、どうなりますか？

自然界が真空を嫌うように、社会というのは価値観の空白を嫌うんです。

今までキリスト教国だったところから、聖書の価値観がどんどん押し除けられて行くと、それが空白のまま中立になるんじゃないかと、相反するもの・正反対のものがその中にカパッとハマってしまうんですよ。そうしたら、世の中どんどん悪くなってしまわないですか？

「だから、声を上げるべきなんです。これが、私たちが世の光、地の塩として、世の中に聖書的影響力を放って行くための一つの手段ではないですか」

彼の発言を通して、実際にアメリカの墮落が食い止められたということは多いと思います。

チャーリー・カークを僕は評価するし、素晴らしい殉教者だと思いますが、彼の発言があまりにも説得力があるので、「チャーリー・カークは反キリスト。反キリスト的発言をしているから、この動画を消せ！」と言ってくる人がいる。同じ人。だいたいね、私の動画気に入らへんかったら、見んかったらええやん。

あなた、何様で私に命令するんですか？動画消せ！とか。

今まで色んな動画で必ずクレームが付いて来たけど、この時の反発のコメント・反発のクレーム・電話は強烈ですよ。ということはそれだけ、敵対している人たちにも響いているんですよ。

最後は聖書のことばで締めくくります。箴言（しんげん）。

箴言は諺集みたいな書で、神の知恵です。

箴言 31 章 8-9 節

口のきけない人のために、口を開きなさい。すべての不幸な人の訴えのために。口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や貧しい人のためにさばきを行いなさい。

口のきけない人とは聾啞で、肉体の障害で言葉を発することができない人も含まれていますが、同時に、社会的弱者で自らを弁護する術を持っていない人のために、それができる人は代弁者となって、説得力という賜物を持っている人は、人前でうまく話せない人たちの代わりになって、正義と公正についてちゃんと発言しなさい。すべての不幸な人の訴えのために口を開きなさい。

これは、裁判でも世の中に対してもそうじゃないですか？

口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や貧しい人のためにさばきを行いなさい。

これが、旧約聖書が勧めていることじゃないですか。

これは、**リビングバイブル**ではこうなってます。

だれからも見放された人を守ってあげなさい。正しい裁判をして、貧しい人や困っている人を助けてあげなさい。

助けてあげることの中には、ボランティア活動もありますね。

守ってあげることの中には、法廷で弁護士が不利な立場に立っている弱者を救済するという事もあると思います。

それと同じように、クリスチャンたちが、おかしい事がまかり通ろうとしている時に「おかしいじゃないか！」と声を上げて発言するのは、世俗のことに首を突っ込んだり、世的になっていることじゃないんですよ。世的になるというのは、キリストから心が離れていくことですよ。キリスト以外のものを拝むことじゃないですか。キリストを崇めるゆえに発言する政治的内容が、なんで世俗なんですか？

そんな表面的な形の見え方だけで「それは世俗だ」と言うのは、僕はおかしいと思いますよ。ごうちゃんねるで、あえて政治的な発言をしているのはそういうことなんです。

ただし、私の政治的発言は、私が所属している東住吉キリスト集会とは何の関係もありません。それはひと言申し上げておきます。このチャンネルは私の個人チャンネルなんです。個人チャンネルですから、私がいいと思うことを発信します。

それに同意してくださる方がいたら本当に感謝ですし、同意できない方でも、これをきっかけに考えを深めていくのに役に立てるなら、本当に幸せなことだと思っています。

今日は、日本イスラエルクリスチャン交流会の発足についてお話ししました。

私は日本の国政の中心にいる方々にも、神を畏れる方が増えていくことを望んでいますので大賛成です。

チャンネル登録といいねボタン、それから『世界は聖書で出来ている』、よろしく
お願いします。ではまた、ごうちゃんねるでお目にかかりましょう。
それまで皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。 ☆。

引用；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社. 2017
『リビングバイブル〈旧新約〉』改訂新版 いのちのことば社. 2016